

## 2008 年度 小委員会活動成果報告

(2009 年 2 月 4 日作成)

小委員会名	地震荷重小委員会		主 査 名：大川 出 就任年月：2005 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 振動運営委員会		委員長名：和田 章 主 査 名：三浦賢治
設 置 期 間	2005 年 4 月 ～ 2009 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	・地震荷重小委員会では、地震に対する建築物の要求性能を満たす設計の今後の方向性を示唆する枠組み、内容について総合的に検討し新しい地震荷重評価法を構築すること、さらにこれらを刊行物にまとめることを目的に活動している。		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：大川 出 (建築研究所) 幹事：林 康裕 (京都大学)、壇 一男 (清水建設) 委員：藤堂正喜 (戸田建設)、上林宏敏 (大阪工業大学)、森 保宏 (名古屋大学)、松村和雄 (鹿児島大学)、土肥 博 (NTT ファシリティーズ)、緑川光正 (北海道大学)、曾田五月也 (早稲田大学)、楠 浩一 (横浜国立大学)、香川敬生 (地域地盤環境研究所)、神野達夫 (広島大学)、石原 直 (国土技術政策総合研究所)、岡野 創 (鹿島建設)		
設置 WG (WG 名：目的)	設計地震荷重に関する現状調査 WG： 構造設計における地震荷重設定の現状を踏まえて、設計地震荷重を今後どのように構築していくべきかについての基本的な議論を行う。		
2008 年度予算	400,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	今年度は、前記 WG を設置し、基準法改正、強地震動予測や、超高層建築物および非構造、設備などの安全性について様々な検討が行われている現状を踏まえて、基本的な議論を行った。その結果、今後の活動へ向けて有意義な検討を行うことができた。
委員会活動の問題点・課題	特になし